

台風家屋一七〇〇戸余を全半壊

市全機能を復旧に傾注

台風災害特報

昭和34年9月29日発行(第1号)

九月二十六日夜半二時間余に亘り、今までの災害史上にみられなかつた台風十五号は、湖岬より遂に岐阜県下を縦断し、本市は猛烈な暴風雨に巻きこまれ、私達が且つて経験したこともない深い恐怖と、死者六名の惨い犠牲者を出すとともに、全壊住宅一九四戸を始めとした甚大な被害を出すに至つたが、二十六日暴風雨の荒れ狂う最中、渡辺市長、小島助役は災害対策本部を消防署におき、嵐の静まるとともに市役所本館に移転し、市長自ら陣頭指揮をし、明けの待つて市議会議長と共に市内を一巡、市全職員を各町の災害実地調査と救助準備のため配置、市議会の災害対策の緊急委員会を招集、国の災害救助法の発動要請等全機能を集中し、復旧措置に全力をあげている。



(写真は古井町倒壊状況)

災害対策本部(市役所本館) 市長本部長として陣頭指揮

二十六日午後十時、暴風雨内の真只中に消防署に市長、助役を始め災害対策本部をおき、予想される災害に対するため鳩首協議し、明けて二十七日未明午前二時より本部を市役所本館一階に置き、総務、調査、整備業務、耕地技術、商工、面接、救援、水道の十一部におたつて、災害復旧に市の全機能を集中しており、二十七日、二十八日の両日に災害家屋を中心とした実地調査班を派遣し、災害状況の把握と救助態勢の確立を図つた。

◎災害対策本部のお問合せは 電話二二一一番へ

◎災害対策本部は今後も復旧のメドがつくまで開設しております。

災害対策 大野副総裁

松野県知事実地視察

未曾有の台風の対策に中央にて、全国災害対策本部長として御尽力されている大野副総裁が、困難な日程をさいて、渡辺市長の現況報告のもとに中濃地区にも現地視察をされ

謹んで御見舞申し上げます

先ず以つて尊い犠牲者となられた六名の方々に謹んで哀悼の念を表します。

未曾有の台風の後家屋の全半壊一、七〇〇戸を超えた市民各位の御心痛をお察し且つ日夜復旧に御心しておられる御苦労に対し私は断腸の思いにかられますが、且つて麻痺と敗戦のなから復興したように身をなげうつてこの復旧に捧げる所存であります。

九月二十九日正午来市、現地の調査を願うとともに、産業観光会館において市議会議長、自治会長、農協組合長を始め、被災者より具体的な陣情を受けられた後、市長等とこの対策について協議した。

死者6名を始めとする本市被害状況

(34.9.28.午後5時現在)

人	死者 6名	耕地	湛水水路決壊 20ヶ所
	重軽傷 66名		
家屋	住宅全壊 194戸	農産物	収穫皆無換算 858.8 (ヘクタール)
	半壊 475		
	非住宅全壊 426	山林	立木折損 10,000m ³
	半壊 618		その他林産物21,000kg
	公共建物全壊 9	畜産	乳牛、豚、鶏死亡 78単位 (家畜単位 指数による)
	半壊 15		
	小計 1,735		
土木	備前流夫 3ヶ所		
	道路決壊 54		
	河川 51		
	小計 68		

全壊住家に見舞金等決定

緊急災害対策市議会

二十七日、市内被害調査に一巡した市長は急遽午後一時市議会を招集し、全議員出席のもとに災害対策について協議したが、重要な事項は次の通りである。

(1) 死亡者に対しては災害救助法による見舞金と同額を市費で支出し、併せて弔慰金とする。

(2) 全壊住家に対する見舞金を支出。

(3) 市の公共施設「土木」耕地等災害復旧の緊急措置地等災害復旧に要する融資の途を打開するよう努力する。

(4) 家屋復旧に要する融資の途を打開するよう努力する。

(5) 復旧資材の輸送

(6) 今後各般の復旧に対し中央並びに県に強力に働きかけるとともに、市の全機能を災害対策に集中する。等であり、これに基づき被害実態調査の進捗とらひも合わせて早急に措置をすることになった。

謹んでお悔み申し上げます

家屋の倒壊等により、台風の惨い犠牲となられた次の方々に市民の皆さまと共に謝罪のお悔みを申し上げます。

古井町 山口かま(58才)
下中 山口菊松方
日比野らい(71才)
下古井日比野龜六方
綠屋町 安田敬次(55才)
作川岡
加茂野町 小川宜重(29才)
孝弘(6才)
(廣之里 小川京二方)

(銀座 林兵吉方)



(写真は産業会館における陣情状況
中央は大野副総裁、説明しているのは渡辺市長)

台風その後 (日程)

九月二十六日 夜九時半より二時間余暴風雨圏内に入つたので、災害対策本部を設置

九月二十七日 市全職員による被害家屋を中心とした調査と対策緊急市議会議を開催午後八時四十分「災害救助法」発動

九月二十八日 市長、議長、副議長等県議知事以下関係部長、及び県議会に緊急対策について陳情

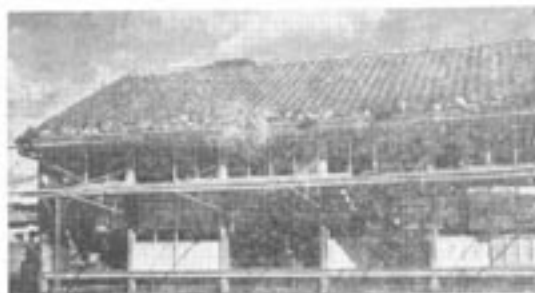
九月二十九日 災害対策本部長、大野副総裁等、一行現地視察

台風15号被害写真



(左) 古井町山口菊松さん方住宅全壊
尚菊松さんの奥さん山口かまさんは、この倒壊の下となって尊い犠牲者となった。

(右上) 下米田保育所
板壁等建具破損



(右中) 電柱倒壊
古井町連絡所前



(右下) 山林折損
蜂屋町加瀬田の山林は全滅といわれる程折損



(左) 山之上果樹園
名産富有柿、蜂屋柿は全滅にひんし 果樹の折損は甚大なるものであつた

農作物

- 1 水稲
1 倒伏して水につかっている稲は極力排水につとめ穂発芽と、穂の腐敗を防ぐこと。
- 2 水のない田でも倒伏して地面に穂のついていないものは穂発芽をするから、早稲、中稲で熟期の来ているものは早く刈取ること。
- 3 除稲で倒伏しているものは起さないほうがよい。倒れていないものは有機肥料(セレン石灰、メラン粉等)を反応三キロ散布すること。

中小企業の

復旧に融資

台風被害のための資金繰り設備に融資の途がありますから、詳しくは災害本部内商工部へお問合せ下さい。

農家の倒壊家屋

建築に融資

自作農維持新設資金によつて次の通り融資の途があります。1 農家の家屋全壊等農業経営

- 1 刈取期の来ているものは米質を損傷するから早く刈取ること。
- 2 遅出来のもので刈取期の稍々早いものでも甚だしく倒伏したものは刈取ること。

各町災害救助

主任を派遣

各町に次の通り派遣致したから連絡所長と共に災害復旧について御相談、御利用下さい。

太田町 林 貞雄
古井町 山口 修一
山之上 稲田 修一
蜂屋町 天野 謙
加茂野町 関宮 道郎
三和町 大矢富貴雄
伊瀬町 渡辺 誠雄
下米田町 渡辺 誠雄

- 2 農作物の被害が甚し所得の三割以上減収した農家。

融資は最高二十万円、年利五分、十五ヶ年以内で元利均等償還の方法により固から、県へ割当てられた融資額の範囲内において融資されます。詳しくは災害本部内農務部にお問合せ下さい。

台風被害 応急措置

上水道29日午後より給水

上水道の給水が不能となつて皆さんに多大の御迷惑をかけて申し訳ありませんが、二十九日午後より中部電力の必死の復旧作業によつて水源地に送電が開始される予定であるので送電により送水開始。数時間後には各支線にわたつて給水が出来ますので、もう少しの御辛抱をお願いいたします。尚、これまで普通の停電の場合にはジーゼル発電機で送水出来たのですが、その所要時間を越し停電が数日にわたつたために送水不可能となつて御迷惑をかけて深くお詫び致します。

市民運動会は中止

十月十八日開演予定の市民運動会は災害の為中止、災害復旧の万全を期す事になりました。準備その他に御協力頂いた方々に併せて御詫び致し、お知らせと致します。市内小・中学校運動会も中止。九月二十九日の校長会でも市内小・中学校の恒例の運動会は自粛し学校の災害の復旧にまずとりかゝることになつた。

電話線

市内線は大五〇回線が不通となつては、太田、古井一部、十月三日頃まで開通見込。その他、山の上、蜂屋、下米田は十月五日頃開通見込。市外線は、五七回線にわたつて不通となり三和、加瀬田、宮加は市内線復旧より若干遅れる見込(二十九日十二時調べ)。

電燈

太田営業所管内電柱倒壊及傾斜二百本引込線切断、二千余カ所に及び幹線の復旧は早く十月四日頃の予定。開営業所管内

加茂野小学校及び伊瀬連絡所までの幹線その他の三和、蜂屋、山の上方面の幹線復旧は早く十月二日頃の予定。(二十九日十二時調べ)

バス網

豊成バス全線開通。但し山之上線宮前―北方間は不通。岐阜乗合 太田―加茂野駅前間不通。十月一日中には開通の見込(二十九日十時)。

瞬間最大風速四五米

―美濃太田駅保線区調べ―
美濃太田駅の風速計は瞬間最大風速四五米を記録してこれ、又気圧は午後十時九五四ミリバールを記録した。